

吾妻山の火山活動解説資料（平成 24 年 2 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや高い状態が続いています。

火山性地震はやや多い状況で経過しました。

ただちに火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。引き続き、火口内では火山ガスの噴出がみられますので警戒が必要です。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）からの噴気の高さは、50～200m で経過し、噴気活動はやや高い状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は、やや多い状況で経過しました。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 5～6）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 吾妻山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 3 月分）は平成 24 年 4 月 9 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。



図2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状態（2月16日12時17分頃）
福島市上野寺（大穴火口から東北東約14km）に設置してある遠望カメラによる。
実線赤丸で囲んだのが、白色噴気で高さは200m。

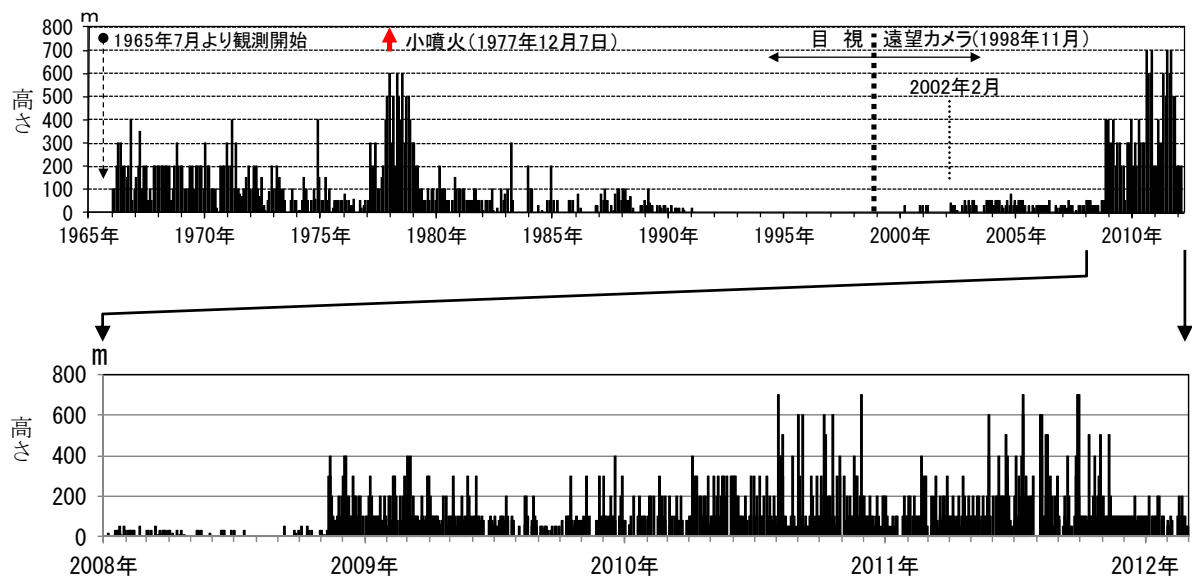


図3 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965年7月～2012年2月）
下段：日別最大噴気高（2008年1月～2012年2月）

1998年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約20km）からの目視観測です。

1998年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約14km）による観測です。

2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。

2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

2010年8月3日、11月27日、2011年7月13日、9月26日、9月29日に一時的に700mを、2010年8月31日、9月5日、10月6日、10月18日、2011年5月24日、7月12日、8月6日、8月7日に一時的に600mを観測しました。

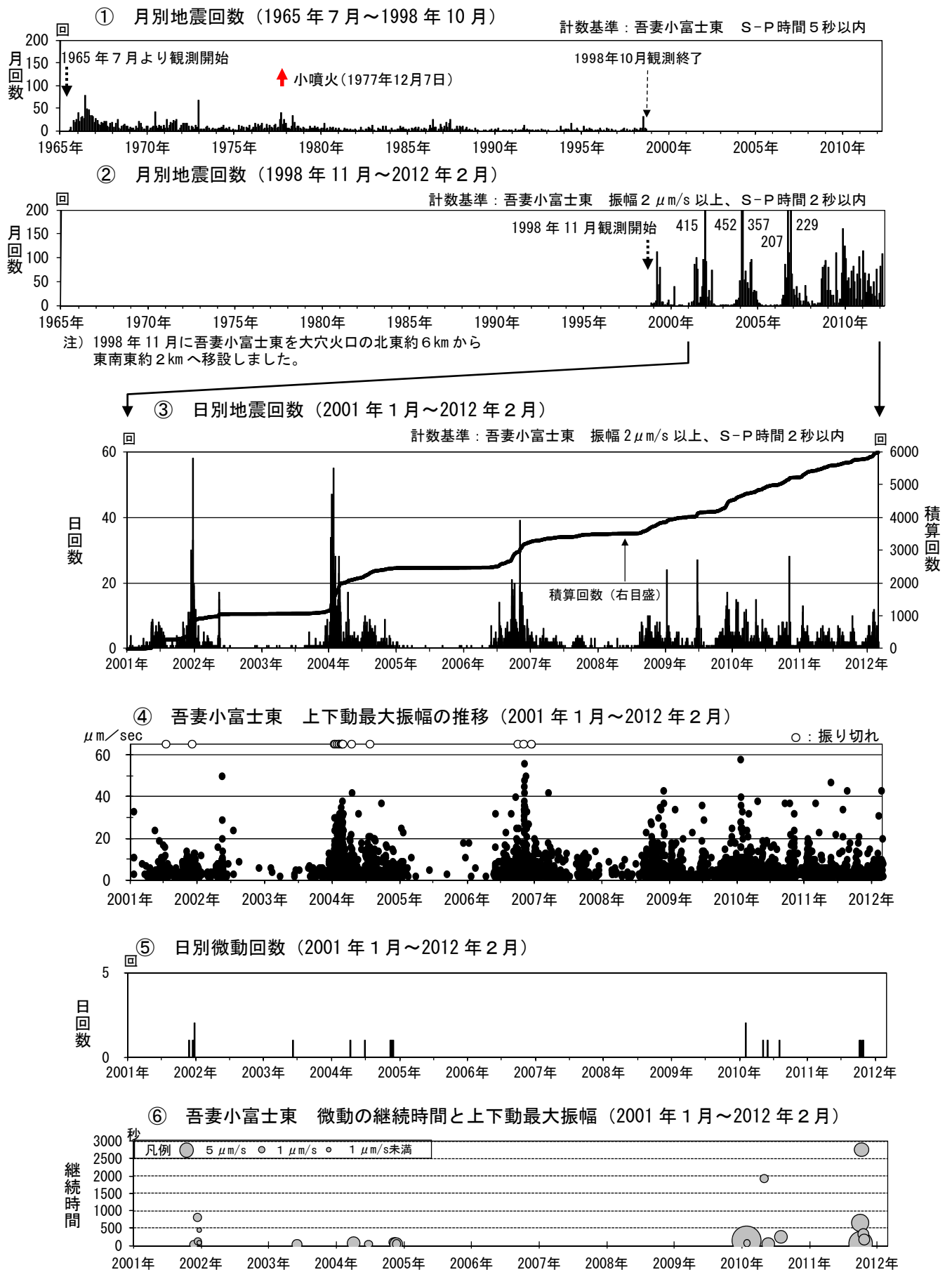


図 4 吾妻山 地震活動経過図

・ 機器障害のため、2010 年 10 月 14～15 日の日別地震回数は欠測です。

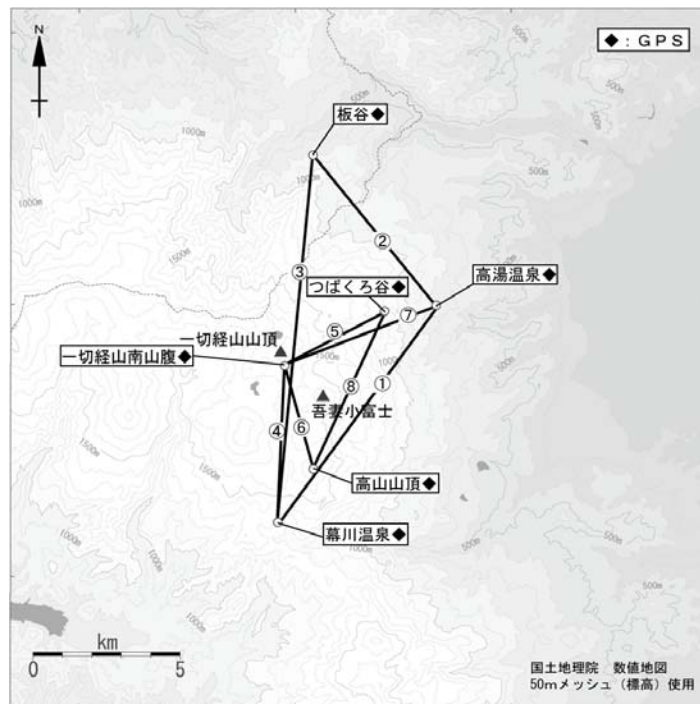


図5 吾妻山 GPS 観測点配置図

GPS 基線①～⑧は図6の①～⑧に対応しています。

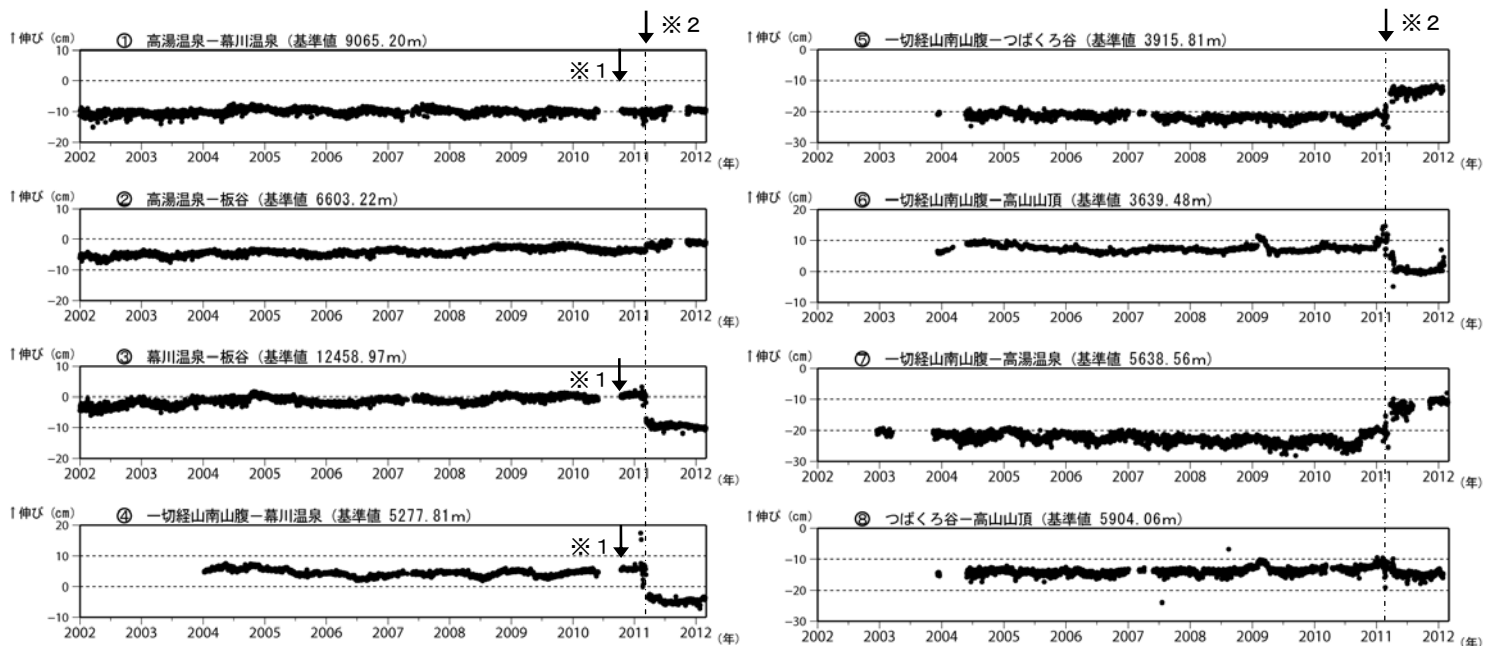


図6 吾妻山 GPS 基線長変化図（2002 年 1 月～2012 年 2 月）

2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。

①～⑧は図5の GPS 基線①～⑧に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を表しています。

※1：幕川温泉観測点の機器更新

※2：2011 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響による